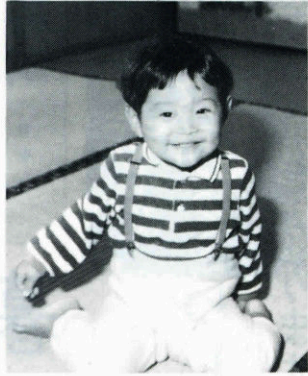


ちょっとひといき



保健婦タイム



坂倉えりかちゃん

昭和61年5月28日生(川尻)

一歳六か月になったえりかちゃんは、ひとり歩きも上手で、外に出たくてしかたありません。二人のお姉ちゃんが保育園から帰って来ると大喜びのえりかちゃんは笑顔がとってかわいいです。

はじめまして

本態性低血圧は、全身倦怠感や、頭重感などの症状をも

一般に最大血圧が100mmHg以下を低血圧症といいます。低血圧症は、体質によるほか、全身の機能を総合的に整えている自律神経・内分泌系の働きがうまくかみ合わないことにより起こる本態性のものと、何かの病気に伴う症状の一つとして起こる症候性のものがあります。本態性のものが大部分です。

保健ミニ知識

低血圧症

ち、朝寝ぼけで背張り、仕事をすると疲れやすく長続きしません。また乗り物に酔いやすく、急に立ち上がった時めまいを感じるなどの症状があります。また低血圧でも、歳とともに高血圧になってしまいう人もいるのです。日ごろから、食生活や運動、嗜好品などに気を配って、低血圧症の改善と高血圧の予防に心がけてゆきましょう。

円高などの環境の悪化を乗り越え、安い鶏肉の供給をめざす



高村 健三 (中 畑)

稲作を主体とした複合経営をめざし、ブロイラー養鶏を始めて約15年になります。当初は年間1.5万羽から始め、49年に7万羽へと増やし現在に至っています。

また、仲間も3人に増え、鶏舎の改良、技術交流、出荷の共同作業等仲間夫婦6人、家族ぐるみで協力しあっています。農産物の輸入自由化、円高、関税の引き下げにより、年々条件の悪化するなかで、経営の合理化、飼養管理技術の向上ということで乗り切ってきておりますが、なにはともあれ、消費者の皆様へ安全で安くおいしい鶏肉を食べていただくことを念頭に、仲間とともに努力しています。

現在では、転作田の有効利用にと飼料作物を栽培し、但馬牛の生産にも力を入れており農業経営の安定を計っていきたいと思います。



鶏肉は、健康食品を求める消費者のニーズに答え、より安全で栄養価の高い食品として、今後も需要がのびるものと期待できます。

鶏組合を中心とした県下でも大きい養鶏地帯であることから、油谷町のブロイラー生産農家は、地域産業活性化の一翼を担っていくことでしょう。

油谷町内のブロイラー粗生産額は、約三億八千万円で、町内畜産部門では第一位を占めています。しかし、最近の円高による影響で、鶏肉の輸入量も増加、国内市況も低落し、ブロイラー農家も輸入自由化の中で、国際競争を強いられるのが

わが町の産業(養鶏)

現状であります。

水稲は、転作の増加、米価の引き下げに加え、特に今年には作柄が悪く大変な年でありましたが、ブロイラー生産は、生産調整もなく、現今の厳しい農業情勢の中では比較的安定した作目といえます。



しかし、輸入自由化の中で、国際競争に対抗するためには、徹底した経営の合理化を進め、生産コストの低減を図る必要があります。

大津郡・長門市は、深川養